

最上総合支庁ニュース

2025年10月号

山形県最上総合支庁



発行元 最上総合支庁総務企画部
総務課 総合案内窓口
電話：0233-29-1360
FAX：0233-23-2605



旧肘折郵便局舎（大蔵村）

「オールもがみ若者定着人材確保推進会議」を開催！

～若者から選ばれる地域へ～

9月17日、最上地域における若者の地元定着と人材確保を目的に、「オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」を開催しました。これは、若者の地域定着・回帰に向けて、最上地域の企業や経済団体、教育機関、行政機関など各界の皆様に参加いただき取り組んでいるもので、今回で8回目の開催となります。

山形大学の松坂暢浩教授による講演では、「高校段階までに地域で働く意識を育むことが、地元定着の鍵となる」との研究成果が紹介されました。

給与面だけではなく、福利厚生や休日など「働きやすさ」を発信することの重要性、そして若者が「自分は地域に必要とされている」と実感できる関わり方が大切であることが語られました。

また今回は、企業・学校・保護者による「鼎談」を企画しました。株式会社山形メタル総務部次長の松田清隆様からは、「企業が魅力ある条件を提示するには、まず財務基盤の強化と行政の支援による安定した事業環境づくりが必要」との意見がありました。

さらに、新庄神室産業高等学校の中里秀樹教頭から

は、「学生が早い段階から企業との接点を持ち、働く意味を考える機会を設けることが、進路意識の形成につながる」との発言がありました。さらに、新庄神室産業高等学校真室川校PTA会長の栗田香澄様からは、「保護者も地域の企業や取り組みを知る機会が少ないため、親子で相談できる場や保護者向けの情報発信が重要」との意見が寄せられました。

今後も「オールもがみ」の連携のもと、世代や立場を超えて若者の定着と活躍を支えてまいります。

[地域産業経済課 29-1307]



最上で働く・暮らすなど、
魅力を伝える若者・保護者
向けリーフレット



知事と舞台集団 M.A.L.L.が意見交換 県民まんなか みらい共創カフェ

本県人口が減少する中、「明るい山形県の未来」をテーマに、知事と県民が対話を行う『県民まんなか』みらい共創カフェが、10月17日、新庄市エコロジーガーデンで開催され、最上地域を中心に活動する舞台集団「M.A.L.L.（マール）」のメンバー5名が参加されました。

はじめに、代表の鈴木紀臣さんから団体の活動報告と、イザベラ・バードの最上での滞在をモチーフにした朗読劇が披露されました。意見交換では、「気軽に稽古ができる施設や公演場所があれば良い」「東北中央自動車道の整備により、秋田や他地域と演劇活動する人たちと連携がしやすくなった」等の意見がメンバーから述べられました。

吉村知事からは、「最上地域は、横軸、縦軸が交差する交通の要衝であり、道の駅等が整備されれば、地域の交流や活性化が更に進む。地域で活動する皆さんが一番の主役であり、県としても支援をしていきたい」とお話がありました。

[総務課 29-1260]



第1回最上地域議員協議会開催

8月28日、最上総合支庁において、第1回最上地域議員協議会を開催しました。最上地域選出の県議会議員4名の出席のもと、令和7年度の最上総合支庁における取組みや最上地域の課題について審議が行われました。

審議に先立ち、齋藤最上総合支庁長から、「令和6年7月の豪雨災害からの復旧状況」「若者の地域定着・人材確保」「農作物の生産振興」「森林ノミクスの推進」「観光誘客に向けた取組み」「高規格道路の整備促進」の7項目について、令和7年度の最上総合支庁の取組みが説明されました。

その後、各委員から、令和6年7月の豪雨災害からの復旧工事の進捗状況、県産米増産方針の地域への影響、災害時の警察官の安全確保、東北農林専門職大学施設の地域住民の利用状況、外国人雇用に対する支援制度、市街地に出没するツキノワグマ等への対策等について質疑がなされ、各分野にわたって活発な意見交換が行われました。

協議会終了後は、県議会議員4名と支庁関係職員が大蔵村のトマト栽培農家を訪問し、今年の高湿少雨による栽培への影響と対応について聞き取りを行い、その後、新庄市の新田川災害復旧工事の進捗状況について現地視察を行いました。

[総務課 29-1211]



地域選出県議会議員



取組みを説明する齋藤支庁長

「東北のへそ」3地域による観光PR in 湯沢



10月4日、秋田県湯沢市で開催された「全国まるごとうどんエキスポ 2025 in 秋田・湯沢」の会場で、宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域、山形県最上地域の3地域共同の観光PRを実施しました。

当日は、全国のご当地うどんを求めて多くの観光客の方が来場され、PRブースにも子ども連れの方やご夫婦など、幅広い年齢層の方にお立ち寄りいただきました。PRブースでは、3地域の観光パンフレットを配布したほか、3地域共同で運営しているInstagramをフォローいただいた方に、各地域のノベルティをプレゼントしました。 [観光振興室 29-1311]



はこビュンで舟形マッシュルームを輸送し、全国にPR!

8月20日(水)、最上総合支庁と東日本旅客鉄道株式会社(JR 東日本)東北本部が連携し、山形新幹線による荷物輸送サービス「はこビュン」を活用して、最上地域が誇る特産品の一つ、「舟形マッシュルーム」とその加工品を新庄駅から東京駅まで輸送しました。

東京駅に届いた商品は、更に東京ビッグサイトで開催された「第18回アグリフードEXPO 東京2025」の出展ブース(出展者: 有)舟形マッシュルーム)にJRのトラックで輸送し、無事到着!

全国の食品バイヤーが集うアグリフードEXPOに新鮮な「舟形マッシュルーム」を届け、その魅力を全国に広くPRすることができました!

[連携支援室 29-1238]



最上传承野菜を使った子ども料理教室を開催しました！

8月31日に新庄市民プラザにて、料理を通して最上传承野菜や最上の食材に対して関心をもってもらうことを目的に子ども料理教室を開催しました。夏に旬を迎える最上传承野菜の「畑（はた）なす」のそぼろ炒め、「雁喰い（がんくい）」や「青黒（あおぐろ）」などを使った豆ごはんなどを一つの皿に盛り付けた「夏のワンプレートランチ」を作りました。

参加した7名の子どもたちからは、「楽しかった」「家でも作ってみたい」などの感想が聞かれました。

〔農業振興課 29-1315〕



最上地域みんなで子育て応援団 新庄まつり子育て支援事業

最上地域みんなで子育て応援団では、8月24日～26日の新庄まつり期間中、子育て支援センターMOCO'Sにて「おむつ交換場所」を開設しました。

赤ちゃんのおむつ交換や授乳、幼児のトイレ利用可能な場所として提供し、休憩所としての利用でも大変喜ばれ、3日間で延べ424人とたくさんの方々に利用していただくことができました。

みんなで子育て応援団では、今後も引き続き地域の子育て支援事業に取組んでまいります。

〔こども家庭支援課 29-1245〕



進路を考える学習会～めざせ！医療のしごと～

最上地域では、医療分野の人材確保を目指し、管内の中学生を対象とした「進路を考える学習会～めざせ！医療のしごと～」を開催しています。医療の仕事を経験の選択肢として考えてもらうきっかけを提供することを目的としています。

今年度の第1回目は、9月9日に大蔵村立大蔵中学校の3年生を対象に開催しました。今回は、医師、薬剤師、理学療法士を講師としてお招きし、それぞれの仕事内容やこの仕事を選んだ理由、最上地域で働く魅力について講演いただきました。講演後は、各ブースに分かれ、模擬診断（医師）、調剤体験（薬剤師）、下肢装具の装着や車いす体験（理学療法士）などの体験学習を行いました。生徒たちは、どの体験にも興味津々で積極的に取り組み、医療分野への関心を深める良い機会となったようです。

〔保健企画課 29-1257〕



夢に近づく！「医療現場見学会」

（新庄・最上ジモト大学プログラム）

8月7日、医療職に関心のある高校生が新庄徳洲会病院の医療現場を見学しました。

普段はあまり見ることでできない、透析室、救急外来、放射線科、薬局、リハビリテーション科などを見学した後、看護師、放射線技師、薬剤師、作業療法士の先輩方との懇談を行い、参加者の皆さんからの疑問・質問に回答いただきました。

参加者の皆さんからは、「インターネットで調べるだけでは分からない、実際に働く方々の生の声や現場の雰囲気を感じることができ、医療に対する理解と興味が格段に深まった」などの嬉しい感想をいただきました。

このイベントを通して、参加者は医療職の仕事への興味・関心や、医療分野への就業志望意欲を高めることができました。

〔保健企画課 29-1257〕



令和 6 年7月の大雨災害による被害の復旧状況をお知らせします

令和 6 年 7 月の豪雨災害について、各地で順次災害復旧工事が開始されており、9 月末現在、40 箇所まで工事を完了しております。引き続き、関係市町村と連携をとりながら、速やかな復旧を目指してまいります。

【各被災施設等の査定結果及び災害復旧工事の発注状況（県施工分：令和 7 年 9 月末）】

	査定決定		契約状況		執行率(%)		工事完了箇所数
	箇所数 (a)	国 庫 補 助 対象額(億円) (b)	箇所数 (c)	国 庫 補 助 対象額(億円) (d)	箇所 (c/a)	額 (d/b)	
公共土木施設	394	179.3	196	83.7	49.7	46.7	40
県 管 理 道 路	93	31.2	74	26.4	79.6	84.6	28
県管理河川・砂防	301	148.1	122	57.3	40.5	38.7	12
治山事業	8	21.6	5	10.2	62.5	47.2	0

<主な工事の進捗状況>

国道 458 号(大蔵村大字南山地内) 安楽城小国川(真室川町大字大沢地内)

林地(鮭川村大字京塚地内)



[地域産業経済課 29-1303、道路計画課 29-1399、最上地域豪雨災害復旧対策室 29-1443]

高坂ダムの流木を有効活用へ

9 月 4 日に高坂ダムで、ダム湖から引き上げた流木の提供が行われました。

令和 6 年 7 月豪雨で漂着したものも含め、例年の約 1.5 倍程の量の流木を資源の有効活用と県の処分費削減のため、希望する方々に提供されました。

当日は、豪雨災害の影響による通行規制が続いている中、県内各地から多数の方にお越しいただき準備した全ての流木を提供することができました。

[高坂ダム管理課 63-2344]



道路功労者表彰

金山町の「下向地区」が公益社団法人日本道路協会から「道路功労者」として表彰され、8 月 28 日に表彰状伝達式が行われました。



住みやすい地域づくりを目指し、道路美化活動を通して地区内のコミュニティ意識の高揚を図ることと、幼児から老人まで歩行の安全を確保することを目的に、主要地方道雄勝金山線約 3km の清掃や草刈、植栽活動を続けてきたことが評価されております。

[道路計画課 29-1444]

令和6年度優良工事等を表彰

山形県建設技術協会最上支部では、最上地域の建設技術の向上を目的に、優良な工事及び業務の施工者、並びに優良な技術者を表彰しています。

9 月 25 日に最上総合支庁講堂において、令和 6 年度優良工事等の表彰を行いました。表彰された方は以下のとおりです。

【優良現場代理人表彰】

越後拓也 様(沼田建設(株))
藤原英祐 様(株葛麓)
佐藤 徹 様(株大場組)

【優良担当技術者表彰】

佐藤達弥 様(大和公営(株))
角川清美 様
(株双葉建設コンサルタント)

[建設総務課 29-1391]

高病原性鳥インフルエンザ・口蹄疫・豚熱等防疫演習開催

7月23日、最上総合支庁講堂で、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の悪性家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を開催しました。演習には支庁職員のほか、市町村やJAの職員など、計85名が参加し、防護具（防疫服、ゴーグル、マスク等）の着脱方法、防疫作業の手順等を確認しました。

近年、高病原性鳥インフルエンザや豚熱の国内発生が頻発していることもあり、参加者の皆さんも真剣に取り組んでいました。

[家畜保健衛生課 29-1356]



特別列車「風っこ」「ひなび」で観光PR

7月5日・6日および8月2日・3日に、奥羽本線臨時列車の運行に合わせて列車のお出迎え・お見送りを行いました。当日は管内の観光パンフレットやチラシ等を配布したほか、各市町村のご当地キャラが駆けつけてくれました。7月5日・6日には、農林大学校で栽培された「さくらんぼ」を車内で配布し、1日目の新庄駅到着の際には、農林大学校の生徒3名が駅構内にて直接手渡しで配布しました。8月2日・3日には、真室川町の2団体による真室川音頭の披露があり、車内では金山町で栽培されたブルーベリーを配布しました。

[観光振興室 29-1311]



Information

最上地域空き家フォーラムを開催します

人口減少と少子高齢化により空き家が増加しており、地域の衰退を招くことが心配されています。そこで、空き家を活用して地域に活気を取り戻す取組みを共有し、解決策を探す場として「最上地域空き家活用フォーラム」を開催します。

この機会に最上地域の豊かな自然や田園風景などの特色を活かした移住や二地域居住、災害時の避難住宅など、様々なニーズに応える空き家活用の可能性と地域の未来を考えてみませんか。

■開催日時：12月1日（月） 14：00～16：00

■開催場所：新庄市民文化会館 小ホール

■講演内容：①移住・二地域居住に空き家を活用した事例など

②「ふるさと住民登録制度」の目的や空き家活用が期待される効果的な活用など

[建築課 29-1418]

うまいものでつながる

最上・庄内ぶらり周遊スタンプラリー開催！

■期間

11月1日（土）～2月1日（日）

■内容

最上・庄内の各施設を訪れ、スタンプを集めて応募した方の中から抽選で50名様に豪華賞品をプレゼント！。両地域のグルメを楽しみながら巡ろう！

詳細は二次元コードをチェック！



[観光振興室 29-1311]

「やまがた鉄道応援団」会員募集中！

◎やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会で、LINE公式アカウント「やまがた鉄道応援団」を設立しました！友だち追加いただくと、鉄道に関するお得な情報をお届けします

◎友だち追加＆10月中の県内の鉄道利用者を対象に、抽選で県産品が当たるキャンペーンも実施中(11/5㍻)

◎この秋、鉄道でお出かけしてみませんか？



友だち追加・キャンペーンの詳細はコチラ！

[連携支援室 29-1238]

令和7年度最上農業賞表彰式・記念講演会を開催します

日 時：11月13日（木）13:30～15:30

場 所：新庄市民プラザ 3階 小ホール

【表彰式】13:30～14:00

最上地域の農業の発展に貢献し、優れた実績をあげている農業者や生産組織等を表彰します。平成元年から始まり、これまで70を超える個人、団体の方々が受賞しています。

【記念講演会】14:10～15:30

演 題 「若者の農業挑戦をアシストする」～3K農業から3Y農業へ、人生は敗者復活戦～

講 師 鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」 校長 百瀬 清昭 氏

鶴岡市出身（旧羽黒町）。山形県立農業大学校（現東北農林専門職大学附属農林大学校）校長として農業経営者の育成に貢献。令和3年4月から「SEADS」校長に就任。

参加申込 入場無料 農業技術普及課（29-1329）に電話でお申込みください。

毒きのこに注意！

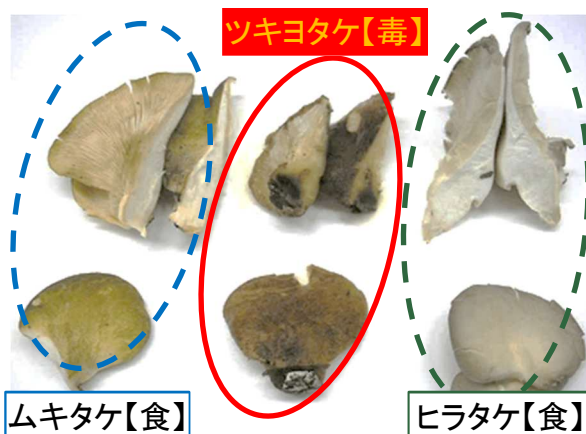
山形県では、毎年のように毒きのこを食用と間違えたことによる食中毒が発生しております。

右図は、本県で誤食が最も多いツキヨタケの見分け方です。きのこの中心部に黒いしみが見られるのが特徴です。ただし、ごくまれに黒いしみが見られないツキヨタケもあります。

食用のきのここと確実に判断できないきのこは絶対に…「採らない！食べない！

売らない！人にあげない！」をお願いします。

なお、食べて体調が悪くなった場合には、残品を持ってすぐに病院を受診しましょう。



[保健企画課生活衛生室 29-1261]

【女性・若者活躍推進事業】

パパもママもみんなハッピー！ 我が家の共育(トモク)プロジェクト

日時：11月15日（土）13:30～15:00

場所：ゆめりあ2階会議室

家事育児がワンオペになっていませんか？みんなでやれば良いこといっぱい。生き生きハッピーライフ実現のため、一緒に家事育児シェアのヒントを探りませんか？

無料託児あります（要申込）。ぜひパートナーと一緒に！[こども家庭支援 29-1245]



おいしい適塩ランチをお試しください

最上総合支庁の食堂で、減塩でもおいしく食べられるランチを提供しており、第3弾を11月19日（水）に実施します。今回は東北農林専門職大学の学生が栽培した野菜を使用したメニューを提供します！

私たちが作りました！



▶第3弾メニュー◀

- ・しょうが入りアレンジ芋煮
- ・タンドリーチキン
- ・白菜のシーザーサラダ
- ・ごはん ・フルーツ

[地域健康福祉課 29-1267]

ジモト大学オープンキャンパス開催

新庄・最上ジモト大学の取組みを小中学生やその保護者の方など、地域の皆さまに広く知っていただくため、「ジモト大学オープンキャンパス」を開催します！入場無料・入退場自由ですので、興味のある方はぜひお立ち寄りください！

◆日時：令和7年11月8日（土）10:00～12:30

◆場所：新庄市民プラザ

◆内容：ジモト大学のパネル展示
プログラム体験ブースの設置
（手話教室、メイク講座等（予定））



[連携支援室 29-1236]

第10回最上小国川写真コンテスト作品募集中！

最上小国川の魅力を撮影した写真をまだまだ大募集しています！**いよいよ来月締め切り！ぜひふるってご応募ください！**

☑ 応募資格・応募数制限なし！

☑ スマホで撮った写真でもOK 📷

☑ 入賞者には豪華賞品（賞金や

最上小国川流域の特産物）を進呈！

○テマ：「未来に伝えたい、

私たちの最上小国川」

○応募締切：**11月28日（金）**



[連携支援室 29-1238]